



～ふるさと大使 大力翠雲さんから、「うきは市民の歌」の書を寄贈いただきました～

6月23日、うきは市ふるさと大使で書道家の大力^{すいうん}翠雲さん(写真=左、浮羽町田箆出身、京都市在住)から、うきは市民の歌「ルリ色のふるさと」の1番から3番までの歌詞を書にした作品を市に寄贈いただきました。大力さんは高木市長に、「歌詞を読みながら、ふるさとうきはの美しい風景を思い浮かべ、心を込めて書きました。耳納連山の稜線をイメージしました。」と話されました。

市役所の応接室に飾られた額装は、窓から見える耳納連山と共にお客様に御覧いただいています。



はじめまして
生業や暮らし
昔のことや今のこと
そしてこれからのことも

うきは市創業・移住支援ポータルサイト
うきはのはなし
UKIHA NO HANASHI

\フェイスブック、インスタグラムでも配信中心/
ふるさとの魅力を「うきは」で一掃に盛り上げていきましょう！
パソコンが苦手な方は「うきはのはなし」をご利用ください。

うきはのはなし

うきは市創業・移住支援ポータルサイトを開設しました。 [うきはのはなし](#)で検索



「アーティスト・イン・レジデンス」
うきはが舞台の映画の制作発表会

6月20日、町並み交流館商家の2階大広間で、今年4月から、吉井町に滞在し地元を舞台にした映像制作を行ってきた映像アーティスト シルヴィア・マルテスさん(写真=左端、オランダ)による作品の上映会が開催されました。「11月の薔薇(バラ)が咲くところ」という15分ほどの短編で、独自の感覚でうきはの自然や町並みなどを撮影した作品を100人ほどが興味深く鑑賞し、新たなうきはの魅力を発見する機会となりました。本作品はオランダ映画祭などに出品されます。写真=上映後、制作の意図などの質問に答えるマルテスさん